

ふるさと探訪

第66回 西条市民公園のバレーコート跡



西条市民公園には、多目的広場やテニスコート・緑地等があり、運動や憩いの場として多くの方に利用されていますが、この公園内にかつてバレーボールのコートがあったことをご存知でしょうか。



「全国バレーボール大会」と書かれたアドバルーンが上がる往時の姿（写真上）と現在の様子

昭和26年、敷地面積約1万2千㎡、メインコート・サブコート各2面、さらに収容能力3千人の観客席を有するバレーボール専用の屋外コートがつくられ、全日本実業団バレーボール選手権大会等の全国的な大会会場として、また市民の健康づくりの場として大いに活用されたそうです。

しかし、昭和36年に隣接地へ西条市体育館（平成10年用途廃止）が建設されたことでやがて役目を終え、今ではテニスコートへと姿を変えており、階段状の観客席にわずかに往年のなごりが見受けられるだけとなっています。



かつては多くの人の熱気で埋まった観客席

選手の胸には「専売公社」の文字が見えます